

都道府県名	兵庫県	市町村名	洲本市、南あわじ市、淡路市	
ため池管理者	宝珍池ほか		ため池規模	— ha
連携活動状況	 			
事業主体	淡路県民局洲本土地改良事務所			
連携相手	堺小学校(洲本市)、松帆小学校(南あわじ市)、浦小学校(淡路市)			
活用事業名	県単事業(地域夢推進費)			
課題・取組内容	小学生を対象に、ため池の持つ機能や役割及びため池の維持管理の大切さを伝え、併せて、ため池に潜む危険性を認識してもらう「ため池教室」を実施。			
工夫した点等	教室内ではパワーポイントを使い、クイズを入れ興味を引くように説明した。 現地では、ため池の構造等の説明と併せて、ため池周辺における生き物調査やパックテストによる水質調査(pH、COD)などの環境学習を兼ねた内容とした。			
成果・今後の課題	ため池教室を開催することにより、多くの児童がため池に興味を持つきっかけづくりになっており、地域の将来を担う子供たちが、ため池の保全活動へ参加することを期待する。			
その他	参加人数 のべ100名 費用 10,000円			

都道府県名	兵庫県	市町村名	淡路市	
ため池管理者	一谷池田主(水利組合)		ため池規模	— ha
連携活動状況	 農業者と漁業者が交流し池干し作業を実施  「かいぼりまつり」で一谷池で捕獲した鯉すくい大会を実施			
事業主体	浦川地域ため池・里海交流保全協議会			
連携相手	協議会構成員(漁協、ため池協議会等7団体)、兵庫県、淡路市、兵庫県立大学淡路キャンパス			
活用事業名	県単事業(地域夢推進費)、コープこうべ環境基金、豊かな海づくり助成金			
課題・取組内容	防災・減災の面から、ため池の適正な管理と海への栄養分供給による豊かな里海の再生を促進するため、農業者と漁業者が交流し、池干し(かいぼり)を実施。 活動5年目を記念して「浦川地域かいぼりまつり」を実施し、活動の内容、効果等を広くPRした。			
工夫した点等	農業者と漁業者が交流して取り組む「ため池・里海交流保全活動」のエリア拡大や活動の継続を図ることを目的に、協議会主催のイベントを開催し、活動内容や効果をPRした。 また、農業者や漁業者だけでなく、広く県民の意識高揚を図るために、県が主催で「淡路ため池里海交流フォーラム2012」を開催し、事例発表やパネルディスカッションを行うなど情報発信・普及啓発に努めている。			
成果・今後の課題	池干し(かいぼり)を通じて、農業者と漁業者等、地域間の連携が図れた。また、淡路島の他地域への波及効果がみられた。 今後この取り組みをさらに広げるために効果検証やさらなる情報発信が必要となる。			
その他	参加人数 80名 費用 1,200千円			

都道府県名	和歌山県	市町村名	橋本市	
ため池管理者	似賀尾池水利組合		ため池規模	50.2 ha
連携活動状況				
活動組織	似賀尾池水路組合			
連携相手	和歌山県、橋本市、恋野・隅田小学校児童及び保護者、隅田中学校生徒			
活用事業名	—			
課題・取組内容	似賀尾池の改修に先駆け当池に生息する外来魚駆除を目的に釣り大会を開催。また、池にごしの開催や啓発看板を設置した。			
工夫した点等	県立自然博物館学芸員を招き、外来魚の説明、解剖等を行い、生態系保護について児童に関心を持ってもらえるよう取り組んだ。 参加した児童が使用した釣り竿等は、夏休みの思い出の一つになるよう記念品として贈呈した。			
成果・今後の課題	本県では、ため池改修に先駆け、水位低下後に小学校児童を招き、池にごしを実施。今回、似賀尾池で実施した釣り大会は初の試みであったが、夏休み期間の思い出になったといったこともあり、今後も継続して実施できるよう関係市町村との連携協力を図りたい。			
その他	振興局コンペ事業『守ろう！ため池！』に位置付け外来魚駆除に取り組んだ。 活動費用：1,500千円 【親子釣り大会】 参加人数：68名（児童・生徒39名・保護者29名） 【池にごし】 参加人数：49名（児童27名・保護者22名）			

都道府県名	鳥取県	市町村名	鳥取市	
ため池管理者	白兔水利組合(岡ノ谷溜池)		ため池規模	10 ha
概要図				
活動組織	内海地区農地・水・環境保全向上活動推進協議会			
連携相手	—			
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金			
課題・取組内容	ため池の斜樋及びバルブが老朽化し、バルブ操作による放水が不完全状態であったことから、代掻き時期等の用水が多く必要な時に用水不足をきたす状況であった。このため、農地・水の活動地域内に指定し、同交付金を活用したため池の補修を行った。			
工夫した点等	工事のためには、完全な水抜きが必要であるが、いつでも簡単に行えるものではないため、後日手戻りが起こらないよう、斜樋をはじめ堤内各部を念入りに点検を行った。			
成果・今後の課題	苦勞していた、バルブ操作が簡単に行え、水量も確保されるようになった。			
その他	工事概要 斜樋及びバルブ更新一式 工事費用 421,000円(農地・水)			

都道府県名	鳥取県	市町村名	倉吉市	
ため池管理者	天神野土地改良区		ため池規模	6.7 ha
連携活動状況	  			
事業主体	天神野土地改良区			
連携相手	NPO法人 養生の郷			
活用事業名	とっとり井手・ため池活用推進交付金			
課題・取組内容	近年、耕作農家が減少し、ため池管理の粗放化が問題となっていた。このため、NPO法人養生の郷が、周辺の竹林や農業用施設を活用したイベントを開催。			
工夫した点等	イベントでため池の機能や構造、ため池の歴史を説明し、普段体験できない池干し作業を実際に体験し、作業後に獲れた鯉を参加者で味わい、一般の方の農業体験を通じて、施設の機能と管理の重要性への認識を深めてもらった。			
成果・今後の課題	関金地区のその他の団体と連携し、多様なイベント、農業体験を計画することで年間を通じた地域全体での取り組みを図りたい。			
その他	活動費（479,591円 とっとり井手・ため池活用推進交付金事業補助金を含む） 参加人数 関係者 12人 参加者 44人			

都道府県名	岡山県	市町村名	瀬戸内市	
ため池管理者	瀬戸内市		ため池規模	30.0 ha
連携活動状況	ため池出前講座 開催状況  ため池の造りを紙芝居で説明  池に生息する外来魚の駆除  出前講座の感想を発表 			
事業主体	岡山県			
連携相手	瀬戸内市、地元町内会、国府小学校			
活用事業名	単県事業			
課題・取組内容	ため池での事故防止を目的とし、改修前のため池へ国府小学校の児童を招き、ため池の持つ役割、たこを使った築堤の実習、生き物調査と外来魚の駆除を実施。			
工夫した点等	お米作りに欠かせない「ため池」に興味を持つよう、紙芝居によりため池の造りを学び、たこ等を使って児童自ら築堤の実習を行った。 また、ため池の深さを感じさせるため、生き物調査として外来魚の駆除を実施した。			
成果・今後の課題	出前講座に参加した児童から、「ため池の役割や造りなど、今まで知らないことがいっぱいあった」ことや、「ため池は思っていたより水深があり、危険だと感じた」ことなどの意見が出され、課題を達成することが出来た。			
その他	国府小学校3年生 60人 児童へため池新聞、下敷き(ためいけいきものずかん)を配布			

都道府県名	岡山県	市町村名	勝央町	
ため池管理者	勝央町(本谷池水利組合)		ため池規模	9.0 ha
連携活動状況	満水時のため池  地区役員の説明  落水後のため池  生き物調査状況 			
活動組織	本谷池水利組合			
連携相手	子供会			
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金			
課題・取組内容	ため池での転落事故等を未然に防止するため、啓発活動を兼ねて町内子供会の児童を参集し、ため池の造りや水深がどれほどあるかなどを説明するとともに、ため池の生き物調査を実施。			
工夫した点等	ため池の説明を行っても印象に残らない可能性があるため、落水後のため池を見せ、ため池に生息している生き物に触れることとした。			
成果・今後の課題	ため池の水深について実感を持ったこと、ため池に生息する生き物に触れることで印象に残ったことにより、ため池は危険な場所であることを認識し、ため池周辺で遊ぶ児童が減った。			
その他	町内子供会20人(大人10人、児童10人) 活動費 87,854円			

都道府県名	山口県	市町村名	山口市	
ため池管理者	山口市系根共同水利組合		ため池規模	60 ha
連携活動状況				
活動主体	春日資源保全会(農地・水組織)			
連携相手	—			
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金			
課題・取組内容	山口市系根、中河原、立石集落の農地は未整備田で、高齢化、担い手不足の状況ではあるが、平成19年度より農地・水保全管理対策に取組み、非農業者・自治会・子供会が連携して、地域資源の保全活動を実施。 ため池における活動は、組織内に5箇所あるため池を毎年順次、水抜きを実施して、水面下の堤体法面やゲート等の施設を点検するとともに、外来種(ブラックバスやブルーギル等)を駆除。			
工夫した点等	当初は、少数の限られたメンバーによる保全活動となるのではないかと懸念していたが、農地・水保全管理対策の意義等を自治会集会等で繰り返し主旨を説明したことで、世代を超えた参加者が集結してくれた。			
成果・今後の課題	今後、さらに若い後継者や非農業者に参画を促し、世代交代を図るとともに農地・水保全管理対策を有効利用していきたい。			
その他	活動参加人数 22名 活動費用 39千円			

都道府県名	徳島県	市町村名	阿波市	
ため池管理者	市場中央土地改良区・金清水利組合		ため池規模	110 ha
連携活動状況				
活動組織	金清地域資源保全隊			
連携相手	—			
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金			
課題・取組内容	県下で唯一「ため池百選」に選定されている金清1号池・金清2号池において、堤や周辺の美化清掃活動を同交付金を利用して行った。			
工夫した点等	ため池の管理主体である土地改良区や水利組合では、美化活動まで対応が行き届かなかったため、同交付金により資源保全隊を組織し、その構成員でもある地域の老人会に積極的な協力を呼びかけ、ゴミ拾い等の美化活動を行った。			
成果・今後の課題	毎年継続して実施することにより、地域内における環境意識や美化意識の向上に寄与している。 当該ため池は、阿波市の重要な観光資源にも位置づけられていることから、市と積極的に連携を図り、その歴史的価値等について内外にPRしていくよう努力したい。			
その他	活動費81,000円 水利組合役員11名 市場老人会会員12名			

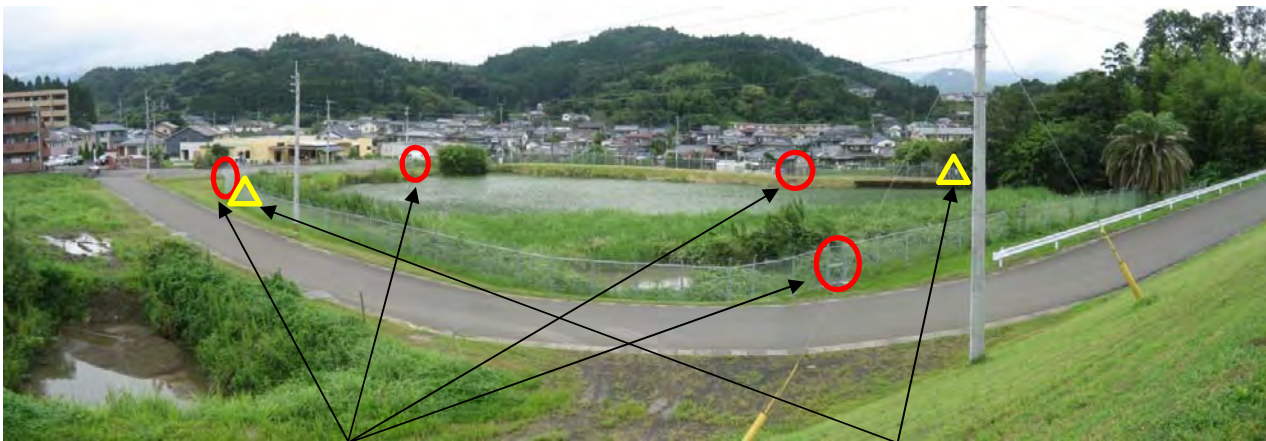
都道府県名	愛媛県	市町村名	東温市 他	
ため池管理者	東温市志津川土地改良区 他		ため池規模	83.7 他 ha
連携活動状況	 地域住民参加の池干しイベント  参加者に対して、ため池の構造や多面的機能、保全管理の必要性についての説明			
事業主体	愛媛県			
連携相手	地元住民			
活用事業名	ため池環境保全促進事業(県単独予算)			
課題・取組内容	農家の減少と高齢化、混住化の進行により、ため池の管理が不十分な状況となっているほか、水質の悪化などにより、ため池の環境が悪化しており、持続的な保全管理に向けた体制の強化が課題。 市街地周辺に数多く点在するため池において、伝統的なため池の管理作業である「池干し」を地域住民参加型のイベントとして実施。 「池干し」イベントを通じて、ため池の持つ多面的機能に対する理解の促進や外来魚駆除に役立て、地域ぐるみで、ため池環境保全への気運を高め、「池干し」を地域恒例の行事として復活。			
工夫した点等	地域住民の参加を促すため、魚の掴み取り体験、ブラックバスの試食会、生き物調査、地域防災活動などを併せて実施。			
成果・今後の課題	平成23年度から2年間で3市1町の5箇所のため池において「池干し」を地元参加型イベントとしてモデル的に実施。 農家及び地域住民約900名参加のもと、ため池施設の点検及び外来魚の駆除などを行い、ため池の保全管理体制の強化を推進。 宅地化が進んだ集落下流域のため池では、生活雑排水などが流入し、アオコの発生や水草の繁茂等が著しいため、水草の腐敗や堆積土の流出による悪臭の発生などから、非農家のため池に対するイメージが低下し、協働活動への参加が消極的。			
その他	H23～H24年度 5カ所 事業費 2,367千円 地元住民 各90～250人程度参加			

都道府県名	福岡県	市町村名	築上町	
ため池管理者	尻深水利組合		ため池規模	16 ha
連携活動状況	 			
事業主体	尻深水利組合			
連携相手	地域住民(非農家)及び海外留学生			
活用事業名	市町村単独事業			
課題・取組内容	農地・水保全管理支払交付金により農業者が主体となり管理しているため池において、将来の維持管理体制の充実を図るため、地域住民が参加しやすいイベントとして「池干し」を実施。 ため池に対する理解を深め、住民(農家、非農家の大人から子供、企業研修の海外留学生まで)が協働で行う維持体制作りを目指している。			
工夫した点等	継続的な参加に繋げるため、池干し後に地元の食材を用いた交流会を開催。 ため池の危険性を実感してもらうため、池の深さや法面の傾斜、施設の構造などを実際に体験してもらった。			
成果・今後の課題	非農家や海外留学生などとの交流が深まった。 ため池への地域住民の注目が集まった。 継続的な取組として実施すること及び日常管理への参加者の拡大が課題。			
その他	この活動は、築上町で助成金を支給している築上町中山間地域活性化協議会と上城井地区自治会(6自治会)で行う地域啓発活動(イベント)の一環で、4~5万円の活動費用で行っている。 参加者は町広報や防災無線等での呼びかけにより、各自治会や地域団体から約80名。			

都道府県名	佐賀県	市町村名	玄海町	
ため池管理者	玄海町（日の出松水利組合）		ため池規模	16 ha
連携活動状況				
活動組織	有浦地区農地・水・環境保全組織			
連携相手	—			
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金			
課題・取組内容	9月に佐賀県内の小学生が、ため池で溺れる水難事故が発生したことに伴い、同様の事例が発生しないようにため池を管理している町内の農地・水組織に所属している水利組合に打診し、全ての組合から同意を得て看板の設置を行なった。			
工夫した点等	既にため池の管理（点検、除草等）を実施し、予算が少ない組合については、看板メーカーから購入せず、ラミネートした看板を作成する等費用削減を実施した。			
成果・今後の課題	何も設置されていなかった状態と比較し、池周辺で遊ぶ児童が少なくなった。			
その他	看板代1枚7,500円、日当1人3,500円（農地・水） 参加人数2名（日の出松水利組合員）			

都道府県名	佐賀県	市町村名	唐津市	
ため池管理者	蕨野区		ため池規模	35.5 ha
連携活動状況				
活動組織	蕨野地区の農村環境を守る会			
連携相手	—			
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金			
課題・取組内容	堤防が脆弱化し、防災面からも改修を要したことから、平成17年度から20年度において、ため池等整備事業による堤体の改修工事を実施した。 一方、通常の維持管理(施設点検・草払い作業等)において、農業後継者不足などの要因で維持管理に支障をきたしていた。 そのような状況の中、平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に取り組み、非農家を含め、集落全体において農業用施設の維持管理を行った。			
工夫した点等	農地・水の活動組織内の非受益者(農業者以外)を含めた共同活動の実践により、地区住民総意に基づく、適切な農業用施設の維持管理を行った。 また、“蕨野の棚田”における様々な取り組み(ブランド棚田米の生産・販売、各種イベント活動など)への機運が高まる中、棚田の水源地としてのため池の維持管理保全についても地区住民の意識が高まった。			
成果・今後の課題	当該ため池の受益地は、「日本の棚田百選」、「重要文化的景観」に選ばれた“蕨野の棚田”であり、NPO法人 蕨野の棚田を守ろう会などの活動組織等による棚田米の生産・販売、都市住民との交流事業や棚田保全活動を積極的に展開しており、望ましい農地・水・環境保全管理形態が構築できた。			
その他	H23 農地・水保全管理支援交付金(共同活動支援交付金) ・全体事業費 1,655,825円 ・うち、溜池の保全管理等に要した経費 160,000円			

都道府県名	熊本県	市町村名	熊本市	
ため池管理者	白土用水管理組合		ため池規模	6 ha
連携活動状況				
活動組織	西里地域農地・水環境保全管理協定運営委員会			
連携相手	—			
活用事業名	農地・水保全管理支払交付金			
課題・取組内容	本ため池の上流部にあったため池が災害等につぶれたことにより、近年、土砂流入が見られるようになったが、地域には浚渫する費用がなく困っていた。 このため、本交付金事業を活用し、周辺の草刈や、水抜きによるゴミの除去を行った。			
工夫した点等	本交付金事業による取組前は、管理組合が活動を行っていたことから、地域住民の協力を得られ連携がスムーズに行えた。			
成果・今後の課題	ため池内には、未だヘドロの堆積があり、周辺部には竹が茂っているため、竹については共同活動で引き続き管理し、堆積物については向上活動にて平成26年度に浚渫を行う計画としている。			
その他	活動への参加人数は毎回12人～15人程度。 活動経費は日当1,000円×参加人数＋草刈機台数×500円。 向上活動については、250㎡で300万円程度を予定している。(バキューム)			

都道府県名	宮崎県	市町村名	日南市
ため池管理者	日南市大字星倉持財産管理委員会	ため池規模	0.3 ha
連携活動状況	  4箇所設置  2箇所設置		
事業主体	日南市大字星倉持財産管理委員会		
連携相手	自治会		
活用事業名	市単独土地改良事業		
課題・取組内容	住宅地に隣接し、不特定多数の人が近づくことが可能なため、転落事故の発生等が懸念されることから、地区において、防護柵設置を行った。		
工夫した点等	自治会の取り組みの一環として、安全施設を設置することで、地区の財産としての意識付けを図り、地域住民へため池の存在を周知し、転落事故防止の啓発に努めた。		
成果・今後の課題	地区の財産として、安全管理と維持管理を徹底されることで、ため池の状況等がきめ細かに監視され、施設の異常等に対し、迅速な対応が可能となった。		
その他	工事概要 転落防止柵設置(H=1.8m L=266m) 工事費用 2,341,500円(地区施工) 内、市単独補助1/3(780,000円)		

ため池の保全・管理活動事例集

平成25年 6 月

【お問い合わせ窓口】

農林水産省	農村振興局 整備部 防災課	03-6744-2210
	東北農政局 整備部 防災課	022-263-1111
	関東農政局 整備部 防災課	048-600-0600
	北陸農政局 整備部 防災課	076-263-2161
	東海農政局 整備部 防災課	052-201-7271
	近畿農政局 整備部 防災課	075-451-9161
	中国四国農政局 整備部 防災課	086-224-4511
	九州農政局 整備部 防災課	096-211-9111
沖縄総合事務局	土地改良課	098-866-0031